

浦幌町
洋野町

災害時相互応援で協定

物資支援や職員派遣など

浦幌町は10月25日、岩手県洋野町と災害時相互応援協定を締結しました。7月に結んだ「友好の町絆協定」に盛り込まれた6項目のうち「災害時の相互応援」に基づくもので、地震・津波などをはじめ大災害時に食糧・飲料水や資機材、職員派遣などを相互に行うものです。1988年に共同利用模範牧場の姉妹提携から始まった両町の交流は、更に新しい関係に発展しました。



調印後手を重ね合わせる田村議長、水澤町長、水上町長、福島議長（右から）

洋野町農村環境改善センターで開かれた調印式では、洋野町の日當博治副町長が協定書の説明を行った後、水澤一廣浦幌町長、水上信宏洋野町長が協定書に調印。田村寛

邦町議会議員、福島秀雄が立ち会いました。調印が終わると4人はしっかりと手を重ね合せて絆を確かめました。協定では大災害時の相互支援の内容（左表）を定めたほか、激甚な災害で被災した側の町と連絡が取れない場合も自主的

な判断で応援できることになっていきます。調印式に引き続きの記念祝賀会には、両町の理事者、町議会、教育、福祉、産業界、模範牧場パークゴルフ関係者ら洋野町側から71人、浦幌町からも18人が出席し、新たな絆の誕生を祝いました。

浦幌町・水澤町長の挨拶 海岸を持つ浦幌町にとつて、洋野町は東日本大震災の未曾有の被害を受けながら人的被害を出さなかった先進的な町。地域の防災組織・消防団の活躍があつてのことで、見習うべき点が多々ある。町民同士の交流も大変肝心なこと。ゆつくりと、とどまることなく、足らざる所は補い、進んでいるところは学びあいながら、協定をより意味のあるものにしていきたい。

洋野町・水上町長の挨拶 絆協定締結から三カ月余、早速青少年交流の実現に向け協議が進み、産業・観光でも相互の祭り参加、そして災害時応援協定締結と、成果は着実に発現している。今後も良きパートナーとして助け合い、結の心を持って両町の絆を一層深めていきたい。築かれた信頼・絆を大切にしながらそれぞれの町の魅力を磨き、両町の活性化と更なる飛躍に向け歩んでいきたい。

< 応援の種類 >

- ①食糧、飲料水及び生活必需品の提供
- ②応急対策等に必要な資機材の提供
- ③被災者の一時収容のための施設の提供
- ④応急対策等に必要な職員の派遣
- ⑤災害支援ボランティアの調整
- ⑥全各号に定めるもののほか、特に要請のある事項

種市海鳴り太鼓の豪快な演奏



多彩な郷土芸能



角浜駒踊り保存会の勇壮な踊り

林郷保育所の子どもたちによる「大黒舞」



向田婦人会のナニヤドヤラ踊り

洋野町農業祭

水澤町長と田村議長がテープカットに参加



洋野町でも餅まきが大人気。浦幌とよく似た光景が



浦幌の特産品が当たるじゃんけん大会は大盛況



祝賀会では7月に浦幌で行われた「絆協定」締結の時のお礼にと、浦幌からの訪問団が郷土芸能によるもてなしを受けました。
また、調印に先立ち、洋野町農業祭に参加。テープカットや餅まき、浦幌町の特産品が当たるじゃんけん大会に水澤町長らが登壇し、盛り上げました。震災による大津波の被害から立ち上がった特産品のウニの種苗生産施設の見学も行いました。
26日には恒例の浦幌町長杯パークゴルフ大会も現地で開催され、浦幌の愛好者も出場。ますます懇親を深めました。



岩手県栽培漁業協会種市事業所でウニの種苗生産施設を見学